

畜産ネットワーク ちば

2012年5月18日

第24号

発行所 (社) 千葉県畜産協会

〒260-0021

千葉市中央区新宿1-2-3

K&T千葉ビル3階

発行人 森 英介

就任にあたってのあいさつ



千葉県農林水産部
畜産課長 伊藤 尚志

平成24年4月1日付けで
千葉県農林水産部畜産課長を
拝命いたしました伊藤でございます。

森会長を始め、千葉県畜産協会の会員の皆様には、
日ごろから本県畜産の振興に御尽力を賜り厚くお礼申
上げます。

さて、東日本大震災から1年が経過し、さる3月11
日に各地で追悼式典が開催されました。世間では復旧・
復興という言葉が飛び交っておりますが、現実はまだ遠
い状態であることを再認識いたしました。あらためて被
災された多くの方々に哀悼の意を表します。

この1年を振り返ってみますと、畜産におきましても
「放射能問題」と千葉市内で発生しました「高病原性鳥イ
ンフルエンザ」の対応に追われた、辛く苦しい1年でした。

放射能問題では、肉牛農家の安全性チェック制度や原
乳、牧草のモニタリング検査を素早く実施し、県産畜産
物の安全性と風評被害の防止に努めてまいりました。

また、本年4月1日から食品中に含まれる放射性セシ
ウムの新基準が適用され、暫定基準に比べかなり厳しい
値となりましたが、幸いにも畜産物につきましては、今
のところ大きな問題もなく推移しているところです。

これも皆様の御理解、御努力の賜と心より感謝いた
しております。

さて、畜産の情勢に目を向けてみますと、本県は全国

でも有数の畜産県であり、平成22年畜産産出額は、一
千億円を超え、生乳で全国第3位、豚で第5位、鶏卵で
第2位を占めるなど、畜産全体で第6位の地位を維持し
ております。

しかしながら、現在の畜産を取り巻く情勢は、飼料価
格の高騰、食肉相場の低迷、牛乳離れによる消費減退傾
向など、依然として厳しい状況が続いております。

県としては、これら問題を一つ一つ着実に解決してい
くため、平成23年3月に策定した畜産振興計画に基づき、
5つの重点的な取り組みを実施して参りますので、引き続
き皆様方の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

<取り組みの基本方向>

1 生産性向上・経営安定のための生産基盤の強化

おいしい牛乳や肉の生産能力が高い家畜を増やし、
生産コスト削減や生産基盤を強化します。

2 自給飼料の生産拡大による飼料自給率の向上

輸入飼料の高騰や耕作放棄地の有効活用の観点から、
輸入飼料に頼らない自給飼料の生産を目指します。

3 県産畜産物の魅力発信

県産食肉の知名度を上げて、流通及び消費者の需要
を喚起します。

4 家畜排せつ物の適正管理と有効利用

家畜排せつ物法に準拠した適正管理・処理を推進する
とともに、生産した堆肥に新たな需給を開拓します。

5 家畜衛生対策の強化

口蹄疫などの家畜伝染病の発生防止対策と、万一発生
した場合の迅速な防疫対策の一層の強化を図ります。

最後になりますが、千葉県畜産協会会員の皆様方の
益々の御発展を祈念申し上げまして、就任のごあいさ
つとさせていただきます。

もくじ

| | |
|--|-----|
| ・就任にあたっての挨拶 | (1) |
| ・平成23年度第2回通常総会 | (2) |
| ・平成24年度畜産協会事業推進体制 | (2) |
| ・新・家畜防疫互助事業に入って安心を担保しよう!! | (3) |
| ・第2回請求の肉用牛損害賠償金支払われる!! | (4) |
| ・「元気もりもり・千葉の牛肉の集い」 が2月6日・7日都内で盛大に開催 | (4) |
| ・肥育牛補てん金の毎月交付が継続されます! | (5) |
| ・平成24年度千葉県畜産関係機関一覧表 | (6) |
| ・差額関税制度の厳格運用に向け動く | (8) |

| | |
|--|------|
| ・県産豚肉消費拡大イベント マリスタシアムinパーク2012盛大に開催 | (8) |
| ・養豚経営安定対策事業(全国肉豚) 1~3月期「特例」補てん決定!! | (9) |
| ・第38回千葉県種豚オークションのご案内 | (9) |
| ・NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信 | (10) |
| ・ちば畜産レディースネットワーク会報 | (11) |
| ・家畜市場取引情報の収集・分析、提供システム の運用が開始されます | (12) |
| ・「食の安全・安心」は「法令遵守」から | (12) |
| ・新規職員紹介 | (12) |

平成 2 3 年度第 2 回通常総会開催

平成 2 4 年 3 月 2 6 日、千葉県自治会館において、森会長出席のもと平成 2 3 年第 2 回通常総会が開催され、平成 2 4 年度事業計画案及び収支予算案をはじめ全 6 議案が原案どおり承認されました。

東日本大震災の発生から 1 年が経過し、東京電力福島原子力発電所事故に伴う、放射能汚染への対応に加え、電力不足や電気料金の値上げ問題、また、原油や穀物等の国際価格の上昇による飼料価格や資材費の上昇に加え、わが国経済の停滞による消費の停滞、円高に伴う畜産物の輸入の増加、さらには、国や県においても、財政状況の悪化による事業の縮小や補助金の削減等が 2 4 年度についても見込まれており畜産の経営環境は、厳しさを増すばかりです。

こうした状況に対し、国をはじめとする現行制度をできるだけ活用すると共に、県や関係機関の支援のもと、安全で品質の高い畜産物の県民への安定供給を目指し、生産者の経営の安定、飼養管理技術、家畜衛生管理向上等の推進に努めるほか、消費者への畜産への理解増進に向けて一層の推進を図ります。

また、2 4 年度も協会単独事業の活用を図るなどにより、県等の行政や、生産者からの、原発事故被害補償対応のような緊急的要望に対しても、積極的な対応に努め、引き続き畜産経営の安定化と健全な発展を目指してまいります。(総務部 奥住)

平成 2 4 年度畜産協会事業推進体制

以下の体制で事業推進を図ります。よろしくお願いいたします。(総務部 奥住)

| 【 理 事 会 】 | | | 【 委 員 会 】 |
|---|-------------------------------|---------------|------------------------------|
| 会長理事 森 英介 | | | ◆家畜衛生評議委員会 |
| 会長代理理事 奥澤 捷貴 | | | ◆養豚振興委員会 |
| 副会長 | 理 事 | 常務理事 新城 恒二 | ◆エコフィード利用推進委員会 |
| 【 事 務 局 】 | | | |
| 部署・TEL・FAX | 職 名 | 氏 名 | 主な業務の内容 |
| TEL: 043-242-5417(代) FAX: 043-238-1255 | 事務局長 | 榛葉 雅和 | |
| (総務・企画部) TEL: 043-242-5417 | TEL: 043-242-5417 | 部長 奥住 英雄 | |
| | (兼)課長 奥住 英雄 | | ・庶務・会計に関すること |
| | 参与 佃 幸子 | | ・経理処理に関すること |
| | 主任主事 榎屋 健太郎 | | ・新公益法人への移行準備に関すること |
| | 臨時職員 胡口 常代 | | ・畜産コンサルタント等設置に関すること |
| | 【企画課】 TEL: 043-242-6333 | | |
| | 課長 大崎 道康 | | ・肥育牛経営安定対策に関すること |
| (事業部) | (兼)主事 小倉 崇司 | | ・生産者・流通加工者・消費者との相互理解促進に関すること |
| | (兼)技師 飯沼 大輝 | | ・情報の発信に関すること |
| | 臨時職員 高橋 真理 | | |
| | 臨時職員 瀧口 麻美 | | |
| | TEL: 043-241-1738 | 部長 山田 真希夫 | |
| | 【経営・環境課】 TEL: 043-241-1738 | | |
| | 課長 武田 善秀 | | ・畜産経営技術指導、支援等に関すること |
| | 嘱託職員 薫田 耕平 | | ・担い手育成支援に関すること |
| | (兼)臨時職員 胡口 常代 | | ・公庫資金、貸付事業等の指導に関すること |
| | | | ・飼料用米等の自給飼料生産の振興に関すること |
| | | | ・堆肥の生産、流通等に関すること |
| | | | ・家畜排せつ物法に関すること |
| | (兼)課長 榛葉 雅和 | | ・家畜の自衛防疫等の推進、指導に関すること |
| | 臨時職員 高橋 早苗 | | ・死亡牛処理円滑化事業に関すること |
| | 臨時職員 石山 操 | | ・家畜防疫互助基金造成等に関すること |
| | | | ・指定獣医師に関すること |
| | (兼)課長 山田 真希夫 | | ・養豚の振興等に関すること |
| | 主査 金杉 文一 | | ・豚の登録、共進会等豚の改良に関すること |
| | 主事 小倉 崇司 | | ・肉豚の価格補償に関すること |
| | 技師 飯沼 大輝 | | ・肉用牛の生産振興に関すること |
| | 嘱託職員 加藤 脩三 | | ・肉用子牛の価格の安定、生産拡大等に関すること |
| | 臨時職員 鈴木 恵子 | | |
| | 臨時職員 鈴木 眞理子 | | |
| 【 畜 産 団 体 事 務 局 】 | | | |
| ★千葉県畜産物消費拡大推進協議会 | ★千葉県養蜂協会 | ★千葉県馬事畜産振興協議会 | |
| ★ナイスパークチバ推進協議会 | ★ちばエコフィード利用推進会議 | ★千葉県自家検定推進協議会 | |
| ★ちば畜産レディースネットワーク | ★NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター | | |
| ★肉用牛損害賠償請求生産者会 | | | |

新・家畜防疫互助事業に入って安心を担保しよう

家畜防疫互助事業は、海外悪性伝染病（口蹄疫、牛疫、牛肺疫、豚コレラ、アフリカ豚コレラ）が万一発生した場合に畜産経営の被る損失を緩和するため、生産者自らが積立を行い発生時の損害を互助補償する仕組みに国（独）農畜産業振興機構）が支援を行う事業です。

口蹄疫が台湾、中国、韓国等で発生し、我が国への侵入リスクは高く、正に予断を許さない状況にあります。

“備えあれば憂いなし～加入率100%を目指し基金設計を確かなものに”しましょう。（事務局長 榛葉）

1 基金設計



牛

新事業期間（H24～26年度）

- ・想定発生規模：
233戸、20,557頭
- ・加入率：98%
- ・生産者積立金額：8.39億円



約6.7倍に拡大

前事業期間（H21～23年度）

- ・想定発生規模：
口蹄疫52戸、2,200頭
- ・加入率：90%
- ・生産者積立金額：1.26億円



豚

新事業期間（H24～26年度）

- ・想定発生頭数：
口蹄疫30戸32,999頭
豚コレラ13戸、21,450頭
- ・加入率：88%
- ・生産者積立金額：3.84億円



約1.3倍に拡大

前事業期間（H21～23年度）

- ・想定発生頭数：
口蹄疫5戸、6,100頭
豚コレラ16戸、11,000頭
- ・加入率：90%
- ・生産者積立金額：2.92億円

《新事業期間のポイント》

対象事業期間は平成24年～26年度までの3年間です。

海外及び国内での対象疾病の発生に鑑み、基金設計を見直し基金規模が拡大された。

互助金の対象は、経営支援互助金と焼却・埋却等互助金でとう汰互助金は廃止された。

互助事業への加入及び互助金の交付は、飼養衛生管理基準の遵守が前提となる。

牛と豚の生産者積立金は別に管理され、それぞれの積立金から互助金が交付される。

事業期間終了時に生産者積立金に残額がある場合、残額の1/2が生産者に返戻される。

2 生産者積立金および互助金の単価

| 家畜の種類 | | | 生産者積立金 (1頭当り単価) | 上限交付単価 | |
|-----------------------|------|----------------------|--------------------|----------|---|
| | | | | 経営支援互助金 | 焼却・埋却等互助金 |
| 肉用牛 | 肉専用 | 繁殖雌牛（24か月齢以上） | 260円 | 175,000円 | 74,000円 (37,000円) ()は家伝法59条 に基づく費用の交付あ る場合 |
| | | 繁殖雌牛（12か月齢以上24か月齢未満） | 195円 | 59,000円 | |
| | | 肥育牛（雌、12か月齢以上） | 195円 | | |
| | | 肥育牛（雄、12か月齢以上） | 195円 | | |
| | | 子牛（12か月齢未満） | 195円 | | |
| | 交 雑 | 肥育牛（12か月齢以上） | 130円 | 38,000円 | |
| | | 子牛（12か月齢未満） | 130円 | 32,000円 | |
| | 乳 用 | 肥育牛（12か月齢以上） | 130円 | 31,000円 | |
| | | 子牛（12か月齢未満） | 130円 | 27,000円 | |
| | | 乳用牛 | 乳用牛（24か月齢以上） | 260円 | |
| 乳用牛（雌、12か月齢以上24か月齢未満） | 130円 | | 31,000円 | | |
| 子牛（雌、12か月齢未満） | 130円 | | 27,000円 | | |
| 豚 | 家族型 | 繁殖用種豚（雌） | 120円 | 50,000円 | 4,000円 (2,000円) ()は上記に同じ |
| | | 繁殖用種豚（雄） | 240円 | 50,000円 | |
| | | 肥育豚（21日齢以上のもの） | 40円 | 11,000円 | |
| | 企業型 | 繁殖用種豚（雌） | 135円 | 57,000円 | |
| | | 繁殖用種豚（雄） | 270円 | 57,000円 | |
| | | 肥育豚（21日齢以上のもの） | 55円 | 12,000円 | |

わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

森久保薬品株式会社
http://www.morikubo.co.jp



第2回請求の肉用牛損害賠償金支払われる!!

東京電力福島第一原子力発電所の事故により、放射能物質により汚染された稲わらが流通し牛肉などに風評被害が出ている問題で、千葉県内の肉用牛生産農家が損害賠償請求を行うため、「千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会 会長 山崎 巖」が設立（以下、「生産者会」と言う）され、社団法人千葉県畜産協会が事務局となり実施しており、平成24年3月30日に第3回の請求を行いましたので報告いたします。（経営・環境課 武田）

| | 第1回請求 | 第2回請求 | 第3回請求 |
|------|-------------------------|-------------------------|-------------|
| 請求金額 | 447,441千円 | 562,226千円 | 1,014,603千円 |
| 賠償金額 | 420,245千円 ¹⁾ | 535,195千円 ²⁾ | |
| 会員数 | 124名 | 135名 | 141名 |
| 請求者数 | 99名 | 109名 | 122名 |

1) 支払完了日：平成23年12月30日

2) 支払完了日：平成24年3月30日

情報提供等

《第4回請求について》

請求予定：6月下旬、支払予定：8月上旬頃 請求対象：肉用牛販売、スモール・子牛販売、牧草等
請求対象期間：平成23年7月8日～平成24年5月31日

- ・生産者会への加入は随時受付しておりますので、お近くの支援団体又は事務局までお問い合わせください。
- ・酪農及び乳肉複合経営の方は県酪連からのご請求になりますのでご注意ください。

支援団体

千葉県家畜商協同組合、千葉県肉牛生産農業協同組合、千葉県配合飼料価格安定基金協会
[千葉県全日本畜産経営者協会]、社団法人千葉県農業協会（肉用牛部会）、株式会社千葉県食肉公社、
横芝光町（東陽食肉センター）、県南畜産処理事業協同組合（南総食肉センター）

お問い合わせ先

千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会（事務局：社団法人 千葉県畜産協会）
担当：武田・山田・新城 TEL:043(241)1738 FAX:043(238)1255

「元気もりもり・千葉の牛肉の集い」 が2月6日・7日都内で盛大に開催

福島原発事故に伴う牛肉消費量の減退や価格低迷が続いている中で、県及び肉牛生産者・関係団体が一丸となって、千葉県産牛肉の美味しさと安全・安心のアピールと生産地の元気を取り戻すことを目的として、県産牛肉共励会（チバザビーフ枝肉共励会）及び首都圏流通業者等との情報交換会が開催されました。

主催は千葉県・千葉県畜産協会・県産牛肉知名度向上対策協議会により2月6日は品川プリンスホテルにて首都圏の流通業者等180名の出席者のもとに情報交換会が行われ、PRタイムでは7つの生産者団体が昨年立ち上げた総称銘柄「チバザビーフ」の活動状況やこだわり等の発表がされた。



牛の総称銘柄「チバザビーフ」
これからの活動が期待されます



右：宮澤農産 宮澤 武志 氏
左：関口牧場 関口 次敏 氏

2月7日は東京食肉市場(株)に於いてチバザビーフの枝肉共励会に黒毛和種20頭・交雑種20頭がそれぞれ出品された。

和牛の部最優秀賞は宮澤農産出品の宮澤和牛が受賞し、交雑の部最優秀賞は関口牧場出品の千葉若潮牛が受賞されました。

両受賞者は消費者に喜ばれる牛肉生産に意欲を示しておりました。（企画課 大崎）

肉用牛肥育
農家の皆様へ

肉用牛肥育経営安定特別対策(新マルキン)事業の 肥育牛補てん金の毎月交付が継続されます！ (平成24年4月からの出荷牛)

肥育牛補てん金の交付については、平成23年度第2四半期から第4四半期(23年7月~24年3月)において毎月交付されており、平成24年度も肉用牛肥育経営の資金繰りが改善されるまでの間、引き続き特別措置(毎月払い)が継続となりますので、販売報告の漏れがないようお願いします。(企画経営部 大崎)

1 補てん金単価について【平成24年3月】

平成24年3月販売牛の補填単価は下記のとおりとなりました。

乳用種につきましては、補てん金交付額に見合う財源が不足したため、補てん単価が減額となりました。(乳用種：下段※印が千葉県の単価)

| 品種 | 肉専用種 | 交雑種 | 乳用種 |
|----|---------|----------|----------------------|
| 単価 | 39,900円 | 152,300円 | 124,500円 63,700円※ |

- ①販売確認申出書は販売月の翌月の20日までに各事務委託先に提出(厳守)
- ②出荷時には即家畜改良センターに転出届の手続きをして下さい。
(届のない牛は補填金の対象外となります)
- ③乗遅れの補填金交付はしませんので漏れのないように注意して下さい。
- ④全国の補填金価格の公表は販売月の翌々月の上旬となります。
- ⑤補填金交付時期は販売月の翌々月の22日位を予定しています。

2 補てん金単価の算定について【平成24年3月】

| 区 分 | 肉専用種 | 交雑種 | 乳用種 |
|---------------|----------|----------|----------|
| 平均粗収益(A) | 777,537円 | 426,922円 | 219,174円 |
| 平均生産費(B) | 827,507円 | 617,367円 | 374,864円 |
| 差額(C)=(A)-(B) | 49,970円 | 190,445円 | 155,690円 |
| 補てん金単価(C)×0.8 | 39,900円 | 152,300円 | 124,500円 |

注：100円未満切り捨て

3 補てん金単価の推移(乳用種：下段※印が千葉県の単価)

| 区 分 | 肉専用種 | 交雑種 | 乳用種 |
|--------------------|---------|----------|-----------------------|
| 24年3月 | 39,900円 | 152,300円 | 124,500円 63,700円※ |
| 24年2月 | 67,000円 | 150,800円 | 124,100円 122,800円※ |
| 24年1月 | 69,500円 | 151,300円 | 120,200円 |
| 23年12月 | 51,300円 | 153,700円 | 106,800円 |
| 23年11月 | 62,300円 | 170,600円 | 97,700円 |
| 23年10月 | 84,800円 | 153,600円 | 91,000円 |
| 23年9月 | 73,300円 | 108,100円 | 73,900円 |
| 23年8月 | 83,800円 | 89,000円 | 57,500円 |
| 23年7月 | 74,200円 | 99,400円 | 59,300円 |
| 23年度第1四半期(23年4~6月) | 33,200円 | 51,300円 | 49,600円 |

4 新マルキン事業における肥育牛1頭当たりの生産者積立金の額について

平成24年度の生産者積立金の額が下記のとおり定められました。

| 区 分 | 肉専用種 | 交雑種 | 乳用種 |
|-----------|---------|----------|-----------|
| 新単価(24年度) | 13,000円 | 30,000円 | 30,000円 |
| 旧単価(23年度) | 13,000円 | 25,000円 | 18,000円 |
| 差 額 | 据置き | 5,000円上げ | 12,000円上げ |



次代へつなぐ子供達の為にも安全な精肉を
CHEF MEAT CHIGUSA Co.,Ltd
株式会社シェフミートチグサ

〒262-0012 千葉県千葉市花見川区千種町210-5
 TEL: 043-259-3705 URL: www.chefmeat.co.jp/

平成 2 4 年度 千葉県 畜産関係機関一覧表

| | | |
|---|--|--------|
| 農林水産部 〒260-8667 千葉市中央区市場町1ー1 | | |
| 部署・TEL | 職名 | 氏名 |
| 043-222-2800 | 部長 | 永妻 能成 |
| 043-223-2801 | 流通販売担当部長 | 麻生 恵 |
| 043-223-2803 | 次長 | 渡辺 清一 |
| 043-223-2804 | 次長 | 宇野 晴方 |
| 畜産課 〒260-8667 千葉市中央区市場町1ー1 FAX:043-222-3098 | | |
| 部署・TEL | 職名 | 氏名 |
| 043-223-2931 | 課長 | 伊藤 尚志 |
| 043-223-2929 | 副課長 | 井田 忠裕 |
| 043-223-2930 | 副課長 | 笠井 貞義 |
| 企画経営室 043-223-2927 043-223-2777 043-223-2921 | 副課長兼室長 | 笠井 貞義 |
| | 主幹 | 風間 達也 |
| | 主幹 | 高橋 岩雄 |
| | 副主幹 | 菊地 誠一 |
| | 主査 | 森 知夫 |
| | 主査 | 山口 篤 |
| | 主査 | 渡辺 聡 |
| | 主査 | 長友 浩 |
| | 副主査 | 青柳 真澄 |
| | 副主査 | 石川 直子 |
| 生産振興室 043-223-2926 043-223-2939 043-223-2943 | 技師 | 藤川 英一郎 |
| | 主幹兼室長 | 松木 英明 |
| | 副主幹 | 道本 昌信 |
| | 副主幹 | 斉藤 公一 |
| | 副主幹 | 市原 裕二 |
| | 主査 | 大塚 洋功 |
| | 主査 | 山崎 直 |
| | 副主査 | 丸山 武則 |
| | 技師 | 藤田 英美 |
| | 衛生環境推進室 043-223-2923 043-223-2944 BSE対策本部 043-223-3084 | 副技監兼室長 |
| 家畜衛生班長 | | 芦澤 尚義 |
| 副主幹 | | 井出 基雄 |
| 主査 | | 坂元 依子 |
| (衛生班) 043-223-2923 043-223-2938 | 副主査 | 猪俣 一陽 |
| | 技師 | 佐多 美香 |
| | 環境整備班長 | 川村 治朗 |
| | 副主幹 | 渡辺 博剛 |
| 主査 | 菊地 里佳 | |
| 技師 | 沼尾 真人 | |
| 中央家畜 保健衛生所 〒262-0011 千葉市花見川区三角町656 TEL:043-250-4141 FAX:043-236-0090 | | |
| 部署 | 職名 | 氏名 |
| 庶務課 | 所長 | 柴田 祥子 |
| | 次長 | 羽毛田 稔 |
| | 主幹 | 渡辺 和彦 |
| | 課長 | 大畑 清 |
| 衛生指導課 | 主査 | 松宗 絵里 |
| | 課長 | 市沢 三香 |
| | 副主幹 | 藤崎 俊治 |
| | 上席専門員 | 乾 昭志 |
| 防疫課 | 専門員 | 相田 洋介 |
| | 技師 | 西川 潤 |
| | 課長事務取扱 | 羽毛田 稔 |
| | 上席専門員 | 小川 明宏 |
| 技師 | 上林 佐智子 | |
| 技師 | 大橋 健 | |
| 〒285-0072佐倉市岩富町497 TEL:043-498-1431 FAX:043-498-1475 | | |
| 病理生化学課 | 次長 | 陰山 潔 |
| | 課長 | 原 晋 |
| 副主幹 | 木下 智秀 | |

| | | |
|---|-------|--------|
| 部署 | 職名 | 氏名 |
| 病理生化学課 | 上席専門員 | 橋本 能子 |
| | 専門員 | 関口 真樹 |
| | 主任技師 | 萩原 妙子 |
| | 技師 | 福井 陽士 |
| 細菌ウイルス課 | 課長 | 片山 雅一 |
| | 上席専門員 | 松本 敦子 |
| | 専門員 | 大坪 岳彦 |
| | 主任技師 | 福井 聡子 |
| | 技師 | 関根 大介 |
| | 技師 | 松本 千明 |
| 東部家畜 保健衛生所 〒283-0064 東金市川場1105ー3 TEL:0475-52-4101 FAX:0475-52-3335 | | |
| 部署 | 職名 | 氏名 |
| | 所長 | 鈴木 邦夫 |
| | 次長 | 村田 宏之 |
| | 課長 | 青木 ふき乃 |
| | 副主幹 | 今関 美代子 |
| 衛生指導課 | 副主幹 | 江森 格 |
| | 副主幹 | 金子 晴壽 |
| | 上席専門員 | 千葉 耕司 |
| | 技師 | 土肥 世生 |
| 防疫課 | 課長 | 篠原 栄里子 |
| | 副主幹 | 島田 純 |
| | 技師 | 野口 美穂子 |
| | 技師 | 猪熊 道仁 |
| 技師 | 菅 賢明 | |

| | | |
|---|-------|--------|
| 南部家畜 保健衛生所 〒296-0033 鴨川市八色52 TEL:04-7092-2304 FAX:04-7092-1434 | | |
| 部署 | 職名 | 氏名 |
| | 所長 | 中根 崇 |
| | 次長 | 小野寺 道寛 |
| 衛生指導課 | 課長 | 原 康弘 |
| | 副主幹 | 尾滝 満夫 |
| | 上席専門員 | 平島 淳 |
| | 主任技師 | 高崎 舞 |
| | 技師 | 佐藤 隆裕 |
| | 技師 | 瀧口 由貴 |
| | 技師 | 石原 勇人 |
| 防疫課 | 副主幹 | 長田 貴 |
| | 技師 | 久保田 尚 |
| | 技師 | 島田 圭悟 |
| | 技師 | 末政 奈津美 |
| | 技師 | 小形 次人 |

| | | |
|---|--------|--------|
| 北部家畜 保健衛生所 〒287-0004 香取市岩ヶ崎台12ー1 TEL:0478-54-1291 FAX:0478-54-5996 | | |
| 部署 | 職名 | 氏名 |
| | 所長 | 中島 広史 |
| | 次長 | 青木 茂 |
| | 主幹 | 森田 秀雄 |
| 衛生指導課 | 課長 | 武石 佳夫 |
| | 副主幹 | 伊能 生子 |
| | 上席専門員 | 鈴木 秋彦 |
| | 専門員 | 関野 友利華 |
| | 主任技師 | 平野 亨 |
| | 技師 | 関谷 圭美 |
| | 主任用務員 | 渡邊 あや子 |
| 防疫課 | 課長事務取扱 | 青木 茂 |
| | 副主幹 | 久保村 哲也 |
| | 技師 | 塚原 涼子 |
| | 技師 | 阿部 敬 |
| | 技師 | 中山 雄大 |

| 畜産総合研究センター | | | 〒289-1113 八街市八街へ16-1 TEL:043-445-4511 FAX:043-445-5447 | | 部署 | 職名 | 氏名 |
|------------|---------|---------|---|-------|----|--------------------------------------|---------|
| 部署 | 職名 | 氏名 | | | | | |
| 生産技術部 | センター長 | 廣山 健一 | 養豚養鶏研究室 | 生産技術部 | | 室長事務取扱 | 山田 美代子 |
| | 次長 | 石井 希一 | | | | 主席研究員 | 脇 雅之 |
| | 次長 | 村野 多可子 | | | | 主席研究員 | 高橋 圭二 |
| | 課長事務取扱 | 石井 希一 | | | | 研究員 | 新垣 裕子 |
| | 副主幹 | 玉造 信雄 | | | | 研究員 | 村田 美里 |
| | 主査 | 井濱 健太郎 | | | | 研究員 | 赤木 友香 |
| | 主査 | 並木 俊雄 | | | | 研究員 | 細野 真司 |
| | 主事 | 丸 達也 | | | | 研究員 | 溝井 つかさ |
| | 部長 | 檜山 学 | | | | 畜産総合研究センター 市原乳牛研究所 | |
| | 室長事務取扱 | 檜山 学 | | | | 〒290-0531 市原市国本602 | |
| 企画環境部 | 企画経営室 | 主席研究員 | 養豚養鶏研究室 | 生産技術部 | | TEL・FAX | 職名 |
| | | 鈴木 一好 | | | | TEL:0436-96-1231 FAX:0436-96-0956 | 氏名 |
| | | 主任上席研究員 | | | | | 所長 |
| | | 主任上席研究員 | | | | | 杉本 裕 |
| | | 研究員 | | | | | 主幹 |
| | 環境飼料研究室 | 室長 | | | | | 園原 邦治 |
| | | 主席研究員 | | | | | 主任上席研究員 |
| | | 上席研究員 | | | | | 井上 貢 |
| | | 研究員 | | | | | 主査 |
| | | 研究員 | | | | | 鳥海 三佐子 |
| 生産技術部 | 乳牛肉牛研究室 | 室長 | | | | | 上席研究員 |
| | | 主席研究員 | | | | | 齊藤 健一 |
| | | 上席研究員 | | | | | 上席研究員 |
| | | 研究員 | | | | | 平尾 明 |
| | | 研究員 | | | | | 上席研究員 |
| | 環境飼料研究室 | 室長 | | | | | 山口 倫子 |
| | | 主席研究員 | | | | | 研究員 |
| | | 上席研究員 | | | | | 進藤 彰 |
| | | 研究員 | | | | 畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所 | |
| | | 研究員 | | | | 〒299-2507 南房総市大井686 | |
| 生産技術部 | 乳牛肉牛研究室 | 部長 | | | | TEL・FAX | 職名 |
| | | 室長 | | | | TEL:0470-46-3011 FAX:0470-46-3012 | 氏名 |
| | | 主席研究員 | | | | | 所長 |
| | | 主席研究員 | | | | | 福島 達哉 |
| | | 上席研究員 | | | | | 主幹 |
| | 環境飼料研究室 | 室長 | | | | | 富田 耕太郎 |
| | | 主席研究員 | | | | | 主席研究員 |
| | | 上席研究員 | | | | | 山下 秀幸 |
| | | 研究員 | | | | | 主任上席研究員 |
| | | 研究員 | | | | | 梶川 和彦 |
| | | 研究員 | | | | | 主査 |
| | | 研究員 | | | | | 石井 眞利子 |
| | | 研究員 | | | | | 研究員 |
| | | 研究員 | | | | | 行川 貴浩 |
| | | 研究員 | | | | | 研究員 |
| | | 研究員 | | | | | 小林 大誠 |

| 農業事務所名 | 部名 | 課名 | 所在地 | 職名 | 氏名 | TEL | FAX |
|----------|-------|-------|-----------------------------|------------|--------|--------------|--------------|
| 千葉農業事務所 | | 企画振興課 | 〒266-0014 千葉市緑区大金沢町473-2 | 主任技師 | 松本 友紀子 | 043-300-1985 | 043-293-3916 |
| | | 改良普及課 | | 上席普及指導員 | 渡邊 健一郎 | 043-300-0950 | 043-293-2710 |
| 東葛飾農業事務所 | | 企画振興課 | 〒277-0861 柏市高田990-1 | 普及指導員 | 有路 優子 | 04-7143-4122 | 04-7144-8260 |
| | | 改良普及課 | | 技師 | 野村 俊介 | 04-7162-6151 | 04-7162-6154 |
| 印旛農業事務所 | 地域振興部 | 企画振興課 | 〒285-0026 佐倉市鎭木仲田町8-1 | 普及技術員 | 羽深 真里 | 043-483-1129 | 043-485-9502 |
| | | 改良普及課 | | 主査 | 丸山 朝子 | 043-483-1124 | 043-485-9502 |
| 香取農業事務所 | 地域振興部 | 企画振興課 | 〒287-0005 香取市佐原木1250-3 | 技師 | 青木 朋子 | 0478-52-9192 | 0478-54-5617 |
| | | 改良普及課 | | GL・上席普及指導員 | 宮本 光浩 | 0478-52-9195 | 0478-55-1703 |
| 海匠農業事務所 | 地域振興部 | 企画振興課 | 〒289-2504 旭市二1997-1 | 主任上席普及指導員 | 五十嵐 福男 | 0475-54-1122 | 0475-55-8614 |
| | | 改良普及課 | | 主査 | 安川 葉子 | 0475-54-0226 | 0475-52-7914 |
| 山武農業事務所 | 地域振興部 | 企画振興課 | 〒283-0006 東金市東新宿1-11 | 普及指導員 | 村中 洋美 | 0475-22-1751 | 0475-26-2234 |
| | | 改良普及課 | | 普及指導員 | 君塚 時江 | 0475-22-1771 | 0475-25-2061 |
| 長生農業事務所 | 地域振興部 | 企画振興課 | 〒297-0026 茂原市茂原1102-1 | 技師 | 大河原 澄香 | 0470-82-4956 | 0470-82-5348 |
| | | 改良普及課 | | 上席普及指導員 | 伊藤 郁子 | 0470-82-2213 | 0470-82-3975 |
| 夷隅農業事務所 | 地域振興部 | 企画振興課 | 〒298-0293 夷隅郡大多喜町猿稻14 | 副主査 | 鎌田 望 | 0470-22-7131 | 0470-22-0097 |
| | | 改良普及課 | | 普及指導員 | 岸田 雅弘 | 0470-22-8132 | 0470-22-0097 |
| 安房農業事務所 | 地域振興部 | 企画振興課 | 〒294-0045 館山市北条402-1 | 技師 | 田中 なほ子 | 0438-25-0107 | 0438-23-6698 |
| | | 改良普及課 | | 上席普及指導員 | 矢嶋 真二 | 0438-23-0299 | 0438-23-6698 |
| 君津農業事務所 | 地域振興部 | 企画振興課 | 〒292-0833 木更津市貝瀬3-13-34 | 普及指導員 | 金子 貴一 | | |
| | | 改良普及課 | | 普及技術員 | 吉田 明広 | | |
| | | 企画振興課 | | 普及技術員 | 中原 祐樹 | | |
| | | 改良普及課 | | 普及技術員 | 永福 和明 | | |
| | | 企画振興課 | | 普及技術員 | 田仲 景士郎 | | |
| | | 改良普及課 | | 普及技術員 | 菅原 諒一 | | |

差額関税制度の厳格運用に向け動く

4月4日の財務省、農水省、16日には東京税関から各関連機関に対し、差額関税制度の運用に関する通達が出された。養豚生産者が長年の課題としていた制度、ザル法の現状に大きなメスが入ることとなった。各税関長に対し関税局長名では「豚肉の輸入申告に係る審査・検査の充実」として平成24年4月9日から、①書類審査および貨物検査の充実 ②関係職員に対する研修等の充実 ③業界への周知徹底に関する内容を対応するものとした。



★差額関税制度に関する勉強会(2012. 2.13)
前列JPPA役員・部会長 後列農水省・財務・関税関係者

最近の円高水準で、米国産豚肉の現地価格は最も高価なヒレでさえ分岐点価格(524円)を下回っており、ほとんどの輸入豚肉がそうしている分岐点価格付近での価格申告を「虚偽」と疑える状況となっている。局長通知では、豚肉を輸入する業者に対して「輸出国における輸出者の仕入れ価格が分かる資料、契約書の付属資料等、部位ごとの単価設定の妥当性を客観的に証明する資料の提示・提出をもとめる」等の対応を、4月9日から実施するとしている。

これらは、厳密に実施されれば、「ザル」と言われてきた制度の穴を埋めていく可能性がある。

特に東京税関から関係者に出された「豚肉の輸入申告に係る審査・検査の充実」として ①通関関係資料の提出



民主党養豚議連 中井会長

(税関において申告価格の妥当性を慎重に審査) ②輸出者への送金に関する資料の提出 ③申告数量の適正性を証明する資料の提出など、本来輸入に際し、チェック実施されていなければならなかった事ではなかったのではないのか。既に今回の通知を受け食肉業界・豚肉輸入業者にとっては動揺が広がり、窮地となるのでは?との見方もある。

今後、保税倉庫の豚肉や海上輸送途上の豚肉の多くが従来通り通関できない事態も想定される。

今回の監視強化は、(一社)日本養豚協会(JPPA)の要請が現政権において実を結んだ大きな成果であり、今後の運用を注視しながら、秋以降低豚価にあえぐ生産者にとって、これを機に枝肉価格の上昇を期待する声も大きい。(事務局 加藤)

県産豚肉消費拡大イベント マリンスタジアムinポーク2012盛大に開催

4月29日(いい肉の日)、QVCマリンフィールドにおいて恒例のイベントが開催された。

ナイス君、ちばちゃんの着ぐるみ達にはキツイ夏日となった球場正面のブースには県下各地から90名を超える



イベントに参加した生産者・関係者
暑い中ありがとうございました☆

男女に分かれて実施した「ホットドッグ早食い競争」など盛り沢山の企画で大変盛り上がり、参加スタッフは心地よい汗を流しました。

今年は好調なスタートを切った千葉ロッテマリーンズ、イベント後対福岡ソフトバンクとの試合を内野指定席で楽しみ、地元唐川投手の力投で勝利。厳しい経営続く中、明日からのエネルギー充電となるゴールデンウィークの一日となったのではないだろうか。(事務局 加藤)

生産関係者が集まり、昨年同様東日本大震災被災地を支援する募金活動を合わせて実施しました。

イベントとして、県産豚肉120kgの焼肉販売、養豚産業と豚肉に関する情報展示とクイズ&アンケート調査、抽選でロース1kg(ブロック)100名プレゼントに加え、正面ステージでは小学生を対象とした「豚肉食べて笑顔大賞」、



ホットドッグ早食い競争

養豚経営安定対策事業 (全国肉豚) 1～3月期「特例」補てん拡充決定!!

平成23年度から新たな経営安定対策としてスタートした全国肉豚は、豚枝肉の価格が生産コストを下回った場合に差額の8割を補てんする国の事業である。

平成23年4月～12月までの契約頭数に対し610円が補てんされた。豚枝肉相場は平成23年度第4四半期(平成24年1月～3月)も国産の安定生産に加え、輸入在庫が増えたためか低迷が続き、このままでは財源不足から満額支払いが難しい状況となった。

この事業は、「財源が不足すれば、その分出不い仕組みとなっている」

平成23年度の国の予算は約100億円。国と生産者が1:1で拠出しており、平成23年度の契約頭数が約1400万頭であることから、国の予算残金の18億8千万円からALICの事務費を差し引いて約17億円が残っている。



要請するJPPA執行部

(一社)日本養豚協会(JPPA)は、例年がない低豚価の状況から全国肉豚の第4四半期における補てん発動を確実視する一方、第3四半期までの補てん



民主党養豚議連 中井会長 不足するようでは困る。原油や飼料価格の高騰が心配される中、十分な対策になっていない」と農水省および民主党養豚議連を通じて政府に對

応を要請してきました。

4月19日の民主党養豚議連第3回総会においても中井会長に対し緊急対策を強く要請した折、「何とか頑張る」との応援を頂いており、期待を持って経過を見守っていた。

5月8日政府民主党酪畜WTにおいて制度上「繰越」となる国庫17億円を緊急拠出し、生産者も580円に470円上乗せした1,050円を負担することになるが、1～3の市場価格から算出された平成23年度第4四半期の補てん金単価3,810円が満額で支払われることで決定した。

○平成23年度第4四半期(24年1～3月)の生産者負担金の額【変更後】

生産者積立金 1頭当たり1,050円
(国と合わせ2,100円)

○平成24年度生産者負担金の額

生産者積立金 1頭当たり700円
(国と合わせ1,400円)

最近の枝肉価格の動向を踏まえた額

特例補てんを決定した酪畜WT道休座長は、会見の中で、「苦しむ生産者に政治が何をできるか・やれることはやろう」と農水省にもお願いし、決断の経緯を語った。

今回の成果についてJPPA志澤会長は「昨年12月に民主党養豚議連を立ち上げていただき、差額関税制度の厳格運用、そして全国肉豚への対応など、今後懸念されるTPPやカナダとのEPAなど厳しい問題が山積の中で、生産者が一つの組織にまとまり、全ての生産者が汗をかき、資金を負担していく必要がある」とチェックオフ制度への参加を促し、ロビー活動への重要性を強調しながら、「全国肉豚は、あくまでも年度単位の予算措置にすぎない」今後は「養豚経営安定法」などとして法制化を求めて運動していかなければならないと強調しました。(事務局 加藤)

第38回千葉県種豚オークションのご案内

場 所：JA全農ちば八街家畜市場

開催日時：6月6日(水)12:30～

出 品：L・W・D及びF1 約60頭

皆さまのご来場お待ちしております

おります。(生産課 金杉)



瞳は未来を見つめてる。



動物 未来 みつめる ひろがる



ZENOAQ

動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

URL: www.zenoaq.jp

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

去る4月24日(火)午後1時30分から平成24年度第1回理事会が千葉県畜産協会会議室に於いて開催されました。はじめに江藤理事長の挨拶、社団法人千葉県畜産協会新城常務理事の来賓挨拶のあと、香川副理事長の進行で、平成23年度事業実績報告及び平成24年度事業計画等について協議しました。

その主な内容についてご紹介します。(事務局 薫田：今年度から担当することになりました。よろしくお願いいたします。)

1 平成23年度事業報告

平成23年度は東日本大震災の影響により、新たに放射能汚染補償に関する事務及び農場HACCP推進事業が加わった半面、従来の予算が削減され、昨年度とほぼ同額の決算となりました。

収入合計2,395,195円(内会費244,000円) 支出合計2,040,095円

(1) 畜産経営支援組織連携強化事業 (社団法人中央畜産会委託) 平成22年度～23年度

本事業は当NPO法人が事業主体となり、社団法人千葉県畜産協会の指導のもとで事業を実施し、畜産経営支援組織間の連携強化や組織職員の指導技術向上を図ることができました。また、平成24年3月、当NPOの支援活動を紹介した原稿を中央畜産会へ提出しました。

(2) 生産コスト低減畜産生産技術開発推進事業 (社団法人畜産技術協会) 平成22年度～24年度

当NPO法人はNPO法人エコグループ市原の共同開発者となり「河川堤防刈草を有効活用した乳用牛発酵TMR飼料の開発による牛生産コスト削減効果の評価」を実施しました。実用化に向けていくつかの課題はあるものの成果について関係機関から大きな期待が寄せられていました。

しかし、福島原発の放射能汚染問題で利根川及び手賀川堤防の刈草を給与することが不可能となったため、残念ながら昨年5月までの予備試験だけで終了することとなり、本年6月中に報告書とマニュアルを作成の予定です。

(3) 畜産団体事務委託事業

1) 千葉県農場HACCP推進指導事業 (社団法人千葉県畜産協会) 平成23年度～25年度

千葉県畜産協会は平成23年度から3カ年事業として中央畜産会が実施している農場HACCPの導入を始める農場に対して指導員を派遣して、申請に係る作業工程一覧図の作成等を助言・支援する事業を開始しました。

当NPO法人は農場HACCP指導員の養成や派遣、事務処理の一部を受け持つこととなりました。

今年度はアンケート調査の実施(回答：乳用牛103戸、肉用牛25戸、養豚38戸、養鶏16戸)、5名の農場指導員を11戸の農場へ延28人派遣して農場HACCP指定申請の指導等、農場HACCPの普及推進に努めました。

2) 福島原発事故に伴う損害補償事務

千葉県酪農農業協同組合連合会(乳牛関係)及び社団法人千葉県畜産協会(肉牛関係)からの要請に基づき、原発事故に伴う農家の損害補償に係る事務処理にNPO会員の9名を派遣して、申請に必要な書類のとりまとめに協力いたしました。

2 平成24年度事業計画

平成24年度はNPO法人として活動を開始してから6年目に入るので畜産振興に向けて行政・団体・業界から畜産に係る調査及び研究の受託に努めるとともに、当NPO法人内に昨年度設置した専門部会に重点を置いた活動を積極的に推進します。また、前年度に引続いて各種の事業を実施する予定です。

会員の皆様の更なる積極的な参加をお待ちしております。

平成24年度NPO総会

日時：平成24年5月22日(火)13時30分から

場所：千葉市生涯学習センター「メディアエッグ」(千葉市中央区弁天3-7-7)

平成24年度第1回畜産研修会

日時：平成24年5月22日(火)14時から(総会終了後)

場所：千葉市生涯学習センター「メディアエッグ」(千葉市中央区弁天3-7-7)

演題1「千葉県酪農のあゆみ」：講師 千葉県酪農農業協同組合連合会 参与 林 克 郎 氏

演題2「四国の狂犬病流行史」：講師 NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター 唐仁原 景昭 氏

演題3「千葉県農場HACCP推進農場申請の現状について」：講師 NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター 計良伸行氏

◎入会申込みや畜産に関するご相談等をお待ちしております。

お問い合わせは… NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局(社)千葉県畜産協会内)

TEL:043-241-1738

FAX:043-238-1255

正会員 61(内、団体8) 賛助会員 2(団体)



ちば畜産レディースネットワーク会報 通算第7号



モ～モ～フ～フ～



コケコッコ



千葉県内の畜産に携わる女性のみなさんの会報です。



活動記録

- 1 農山漁村いきいきフォーラムへの参加 平成24年2月1日(火) 午前10時～午後3時
・千葉県農山漁村女性団体ネットワーク主催(レディース会員等14名参加)

活動予定

◇総会&紫陽花の宴&研修会・情報交換会のお知らせ◇

平成24年度の総会等を次のとおり予定しております。

- 1 日時 平成24年6月12日(火)
11:00～15:00
- 2 会場 プラザ菜の花 千葉県千葉市中央区長洲1-8-1
TEL: 043-222-8271
FAX: 0475-55-1112
- 3 総会 11:00～11:50
- 4 紫陽花の宴 12:00～13:30
紫陽花咲きほころぶ季節の宴((3,000円))
- 5 研修会・情報交換会 13:40～15:00

会員の皆様、関係機関の皆様、そして「レディースネットワーク」に関心をお持ちの方々のご参加心よりお待ちしております。(事務局 榛葉)



昨年の「紫陽花の宴」風景



昨年の総会后記念撮影

会員だより

『誤解がいっぱい』～これからは『大人の食育』

富里市 堀江 昌代(養豚)



こんにちは！

「ちば畜産レディースネットワーク」会員の堀江昌代です。

富里市で『ダイヤモンドポーク』と『房総ポークC』を生産している家族経営の養豚農家です。

初めて我が家に来て頂いた方皆さんがおっしゃるのが、「こんなところに豚がいるとは思わなかったよ！」です。家のすぐ裏まで住宅地となっているので驚かれるのです。

成田空港の開港により、急激に人口が増加して「村から町・町から市」になりましたが、農業も盛んで生産者と消費者が共存している地域です。

最近、私が感じることは、生産者が当たり前と思っていることが消費者には伝わっていないということです。

先日、知人のAさんが、友人から卵を頂き割ってみると黄身が『薄い黄色』で気持ち悪かったので捨てたと言うのです。なぜかと聞くと、いつも自分が買う卵の黄身は『オレンジ色』で『薄い黄色』なのは栄養失調の鶏が産んだ卵だと思い捨てたと言うのです。

また、知人のBさんは、「『豚しゃぶ』って美味しいわよね、『しゃぶしゃぶ用のお肉』って『焼肉用のお肉』よりいいお肉なのよね、お値段も高いし」と言うのです。

最近肉の部位別の表示より、スライスの種類で用途別の表示で販売されているからだと思います。

Aさんも、Bさんも、若い方ではありません。こういう誤解をされている方がきっと沢山いらっしゃるのだと思います。Aさんも、Bさんもきっと相手が私だったので(女性)こんな話ができたのだと思います。

この時、「ちば畜産レディースネットワーク」がすべき活動は、「こういう消費者が男性の生産者には聞きづらいことを消費者の相談相手ようになって(私達自身も消費者なので)アピールできたらいいのでは？」と思いました。

畜産に携わる女性の皆さん、是非「ちば畜産レディースネットワーク」に参加して、皆さんの畜産物をアピールしましょう！また、男性の皆さん、奥様を、「ちば畜産レディースネットワーク」で女性でなければ、できない活動をさせて下さい。

肉用子牛購買者の皆様へ

家畜市場取引情報の収集・分析、提供システムの運用が開始されます

1 家畜市場取引情報の収集・分析、提供システムとは？

子牛の購買者等に対して過去3年と直近の月別取引結果のわかりやすい分析資料及び今後の市場開催予定、トピックス等の情報をホームページ上に提供されます。

2 システムの利用方法

全国肉用牛振興基金協会のホームページのトップ画面「家畜市場開催予定・結果情報システム」をクリックしてください。
(社)全国肉用牛振興基金協会のHP (<http://www.nbafa.or.jp>)

3 特徴

- ①全国の主要な子牛市場における過去3年の実績データ（取引頭数、平均価格、体重、kg単価等）と直近1年間の月別データをわかり易くグラフ表示。
- ②次回の上場予定がわかりますので、購買者は市場名簿が無くても全国の子牛市場種雄牛別上場予定等が一目でわかります。

※「翌月開催市場の上場概要情報の提供」の情報公開に同意を得た家畜市場から先行して提供されます。

なお、「家畜市場取引結果情報の提供」は準備が整い次第運用を開始します。

お問い合わせ先

社団法人全国肉用牛振興基金協会

TEL:03-3234-2605 FAX:03-3288-0443

社団法人千葉県畜産協会 生産課 担当：小倉

TEL:043-241-3851 FAX:043-238-1255

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています。

「食の安全・安心」のための第1歩は、
「法令遵守」であることを改めて認識してください。

新規職員紹介

◇ 事業部 部長 山田真希夫 ◇

37年間（行政10年、試験研究27年）の公務員生活に終止符を打って、このたび千葉県畜産協会にお世話になることになりました山田と申します。

政権が猫の目のように変わる中で、奇しくもTPP交渉参加問題が急浮上してきました。「農業産出額はGDPのわずか1.5%程度でしかない」といった算数でしかものを考えられない（考えようとしな）者が政権与党の中枢に居座っているかと思うと暗澹たる気持ちになります。

農業畜産は国のプラットフォーム（土台）であり、そこをないがしろにして製造産業も商ビジネスも成り立ちません。反TPP運動の成否は生産者のみならず、いかに一般消費者と一体となれるかにかかっていると思います。

この重大な時期に際し、心機一転新たな道を歩き始めた（といっても還暦を過ぎた人生二週り目の）人間ですが、畜産農家のみなさまのお役に立てるよう、「囲碁で培った集中力」と「ゴルフで鍛えた全天候型（雨にも風にも負けず）フットワーク」をもって、粉骨砕身（健康に自信はないのですが）努力する所存ですので何卒よろしくお願い致します。

◇ 事業部 生産課 技師 飯沼大輝 ◇

よろしくお願いします。飯沼大輝です。3月に無事、千葉県農業大学校を卒業し、このたび4月に千葉県畜産協会に入会しました。千葉県畜産協会とは、今から3年前に千葉県畜産フェアにて着ぐるみのアルバイトとして一度お世話になったことがあります。今度は、雇われる側ではなく主催者側になると思うと、とても不思議な気持ちです。

これから仕事で、ツライ思いをすることもありますが、何事も経験が一番なので頑張っていきたいです。改めてよろしくお願いします。

| 部 署 | | T E L | F A X | メールアドレス |
|---|--------|-------------------|--------------|---------------------------|
| 総務・企画部 | 総 務 課 | 043-242-5417(代) | 043-238-1255 | info@chiba.lin.gr.jp |
| | 企 画 課 | 043-242-6333 | | oosaki@swan.ocn.ne.jp |
| 事 業 部 | 経営・環境課 | 043-241-1738 | | takeda@swan.ocn.ne.jp |
| | 衛生指導課 | 043-241-1738 | | chieishi@aiores.ocn.ne.jp |
| | 生 産 課 | 043-241-3851 | | kanasugi@np-chiba.jp |
| URL http://chiba.lin.gr.jp | | | | |